

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	農業委員会委員選挙事業				会計	款	項目	大	小
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			主管課	選挙管理委員会事務局			
施策	6-2	健全で効率的な行政運営			主管課長	鈴木 忠			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住の有権者	意図	農業委員会委員一般選挙の執行を適正に行う。
事業内容	農業委員会委員一般選挙の執行にあたり、投開票事務に誤りがないよう、適正な管理を行う。また、選挙人が投票しやすい環境を整える。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年7月13日に流山市農業委員会委員一般選挙が執行された。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	市内在住の有権者			1,593	人	→→
②	投票率			75.14	%	↑↑↑		
③								
④								
指標で表すことができない定性的な成果					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・39年ぶりに投票となった。 ・投票率は、前回（S50,7.15）比15.96ポイント減となった。 ・有権者数は、前回（S50.7.15）比2,126人減となっている。 ・選挙事務従事（投票、開票事務）の経験者がいない状況であった。			
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				2,803,002				
事業費(b)(円)				1,421,149				
うち一般財源				1,421,149				
職員給与費(c)(円)				1,381,853				
人役・職員(人)				0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					
					コストの削減	A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	昭和50年以来無投票であったため、投開票、期日前投票事務の適正な管理執行について、改めて検討する必要がある。	③取り組みの課題	他の選挙と違いポスター掲示場もなく、有権者から候補者に関する問い合わせが多かったため、候補者情報の提供方法の検討が必要である。
②今年度(H26)に実施した取り組み	投票所・期日前投票所の各立会人及び選挙立会人を除き、全て市職員により投開票、期日前投票事務を行った。	④今後の改善計画	候補者情報の提供方法について、検討が必要である。なお、農業委員会委員選挙制度の法改正の動きがあるため、法改正の動向を注視していく。